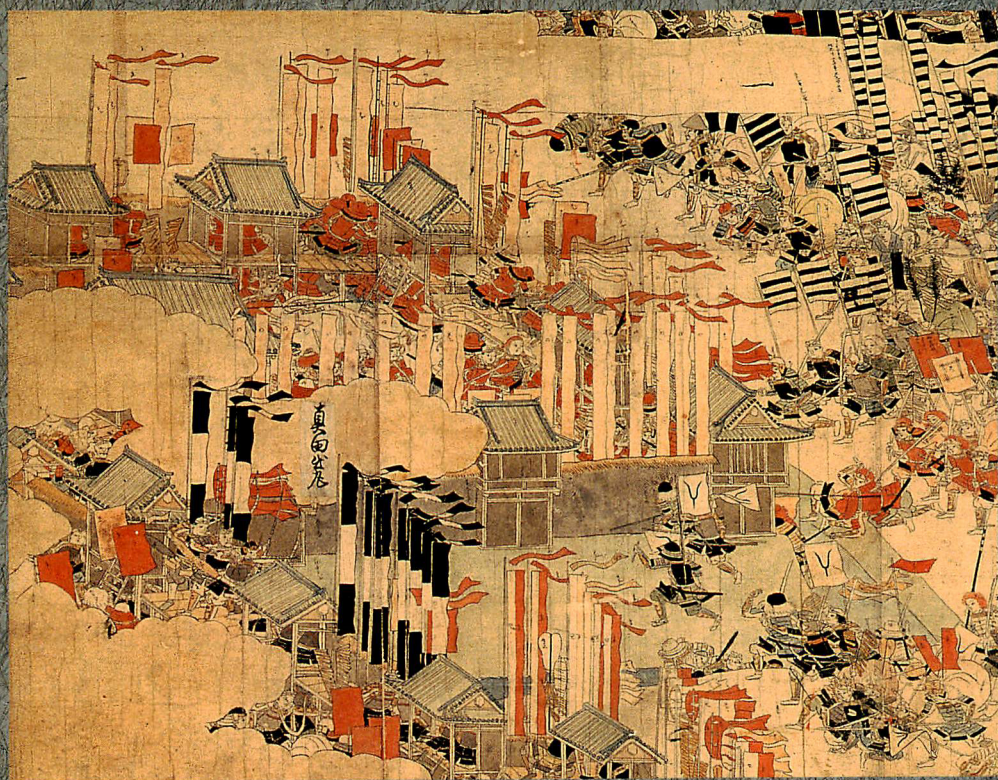


# 真田氏と上田城





# 目次

口 絵

刊行のことば

監修のことば

まえがき

凡 例

上田市誌刊行会長 上田市長 母袋 創一  
東京大学教授 文学博士 佐藤 信

## 第一章 真田氏と武田氏

第一節 真田氏の祖先は ..... 3

なぜ六文銭が 全国に名を知られる 郷土の誇り 海野氏の直系？ 海野氏の姻族 幸綱か幸隆か

第二節 幸隆 武田氏の家臣に ..... 7

一 海野氏の滅亡 ..... 7

海野平の合戦 棟綱上州へ逃亡 幸隆も上州へ 長野業政の下へ

二 武田信玄の下へ ..... 9

信玄家督を継ぐ 信玄信濃侵攻開始 幸隆信玄の配下に

|                  |    |
|------------------|----|
| 目次               | 13 |
| 第三節 武田氏の配下での勢力拡大 | 13 |

|                                                 |    |
|-------------------------------------------------|----|
| 一 幸隆砥石城攻略                                       | 13 |
| 上田原の合戦 敗戦処理と失地回復 砥石城攻めへ 砥石城の乗取り                 |    |
| 二 本領への復帰                                        | 18 |
| 葛尾城自落 小県郡の村上残党退治 本領復帰と人質提出                      |    |
| 三 川中島合戦への参戦                                     | 20 |
| 川中島合戦の始まり 尼巖城在番と海津城築城 永禄四年の激戦                   |    |
| 四 上野吾妻郡への進出                                     | 24 |
| 滋野一族が繁栄の地 『加沢記』による通説への疑問 本拠地岩下城の攻略 武田側の拠点岩櫃城と真田 |    |
| 五 西上野から駿河へ                                      | 27 |
| 上野箕輪城と白井城を攻略 武田家内紛 駿河へ侵攻開始 幸隆、信綱父子吾妻郡を死守        |    |
| 北条との同盟再成立                                       |    |
| 六 信玄と幸隆の死                                       | 32 |
| 信綱の家督相続 織田信長と足利義昭 信玄の上洛の夢と死 後継者勝頼と周辺大名の反応 幸隆の死  |    |
| 七 信綱、昌輝兄弟と長篠合戦                                  | 34 |
| 信州先方衆最大の軍勢力 長篠合戦と信綱、昌輝の死                        |    |
| 八 昌幸の真田家相続と任務                                   | 36 |
| 昌幸の相続 真田氏は武田の譜代に 白井城代                           |    |
| 九 沼田城攻略と領内経営                                    | 38 |
| 上杉氏の相続争い 岩櫃を本拠に沼田攻め 沼田と甲斐を行き来 海野兄弟を討伐           |    |
| 十 武田氏の滅亡                                        | 42 |
| 織田軍の進撃と離反 滅亡時の逸話                                |    |

|                |    |
|----------------|----|
| 第四節 上田築城以前の本拠地 | 44 |
|----------------|----|

|                                               |    |
|-----------------------------------------------|----|
| 一 真田の館跡                                       | 44 |
| 館跡の発見 古銭と堀跡 絵図は語る                             |    |
| 二 御屋敷と原の町                                     | 47 |
| 御屋敷 『真田氏給人知行地検地帳』 田畑と屋敷 町の構造 広山寺の遷り変わり 町の成り立ち |    |
| 三 本拠地の全体像                                     | 53 |
| 本拠地の在り方 山家神社と長谷寺 横尾と信綱寺 砥石城とその城下              |    |

## 第二章 真田氏の自立と所領拡大

|                 |    |
|-----------------|----|
| 第一節 真田昌幸の自立への苦悩 | 59 |
|-----------------|----|

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 一 北条・織田への臣属打診                         | 59 |
| 事前に北条氏に臣属打診 信長に臣属の意を伝達                |    |
| 二 北条氏直へ出仕                             | 60 |
| 織田信長の死 小泉は徳川・北条・上杉の草刈場                |    |
| 三 徳川家康に臣属                             | 62 |
| 弟信昌等の勧誘 家康からの安堵・宛行                    |    |
| 第二節 真田昌幸の小泉郡統一                        | 63 |
| 一 小泉郡統一に着手                            | 63 |
| 家臣への安堵・宛行開始 祢津昌綱を攻める 徳川と北条の和議と対立、信蕃の死 |    |



|                   |    |
|-------------------|----|
| 依田窪地士と丸子で合戦       |    |
| 二 上田城築城           | 67 |
| 北信の上杉勢力を侵食        |    |
| 尼ヶ淵上に築城開始         |    |
| 築城と領内経営           |    |
| 三 小県郡の統一成る        | 69 |
| 昌幸沼田讓渡を拒絶         |    |
| 一年余の空白期間          |    |
| 上杉景勝に臣属           |    |
| 室賀謀殺の逸話           |    |
| 第三節 真田氏と徳川・北条・豊臣氏 | 72 |
| 一 徳川軍の上田来攻        | 72 |
| 徳川軍と上杉援軍          |    |
| 神川合戦の戦況概要         |    |
| 徳川軍の丸子城攻め         |    |
| 徳川軍の滞在と上田城完成      |    |
| 徳川軍の信濃撤退          |    |
| 二 北条軍の沼田攻め        | 75 |
| 秀吉に接近             |    |
| 上杉への援軍要請          |    |
| エール交換の逸話          |    |
| 三 家康に出仕           | 77 |
| 自領を固める            |    |
| 秀吉の戦略転換           |    |
| 真田を政争の具に          |    |
| 家康に出仕             |    |
| 四 沼田領は北条へ         | 80 |
| 沼田讓渡は上洛条件         |    |
| 秀吉の裁断             |    |
| 信幸と信繁             |    |
| 五 小田原攻め           | 82 |
| 北条が名胡桃を侵攻         |    |
| 秀吉の通告と北条の言い訳      |    |
| 小田原総攻撃            |    |
| 六 秀吉から所領安堵        | 85 |
| 配置替え中の例外          |    |
| 父子の個別統治           |    |
| 朝鮮出兵と分担           |    |
| 京都伏見城の普請役         |    |



## 第三章 上田築城と城下町の形成

### 第一節 上田築城

|     |               |     |
|-----|---------------|-----|
| 一   | 築城の始まり        | 91  |
| (1) | 盆地中央への築城      | 91  |
|     | 武田氏滅亡の翌年に築城開始 | 91  |
| (2) | 境目の城としての築城工事  | 91  |
|     | 徳川方の前線基地      | 91  |
|     | 上杉方の前線基地      | 91  |
|     | 真田昌幸命名の上田城・上田 | 91  |
| 二   | 上田城の縄張り       | 94  |
| (1) | 尼ヶ淵にのぞむ上田城    | 94  |
|     | 縄張り           | 94  |
|     | 段丘崖上の城        | 94  |
|     | 古城の堀          | 94  |
|     | 堀口十五間         | 94  |
|     | 城の鬼門よけ        | 94  |
| (2) | 河道の利用とその付け替え  | 96  |
|     | 旧河床利用の大水濠     | 96  |
|     | 外堀となった矢出沢川    | 96  |
| 三   | 真田氏時代の上田城     | 97  |
| (1) | 真田氏上田城の瓦      | 97  |
|     | 織豊系城郭信濃に出現    | 97  |
|     | 上田城跡出土の桃山期瓦   | 97  |
|     | 金箔押しの鯰瓦や鬼瓦    | 97  |
|     | 菊花文の軒丸瓦ほか     | 97  |
| (2) | 真田氏上田城の建造物    | 99  |
|     | 本丸の建造物        | 99  |
|     | 天守閣は          | 99  |
|     | 二の丸北西隅櫓ほか     | 99  |
|     | その他の建造物       | 99  |
| 四   | 慶長の上田城破却      | 101 |
|     | 在番の手で破却       | 101 |
|     | 畑になった上田城      | 101 |

第二節 上田城下町の形成と整備

一 真田昌幸による城下町形成

(1) 海野氏の本拠地の移転

上田中心街の形成 真田氏海野嫡流説 本海野からの寺社の移転

本海野の海野町を上田城下へ

(2) 惣構の内の城下町

惣構 願行寺の位置

二 真田信之による城下町整備

(1) 町人町の整備

「原町」の最初の史料

海野町・原町通りの確定

鍛冶町・紺屋町の形成

上田町

(2) 城下囲いの村々

城下囲いの八か村

鎗衆・鎗町

条里的遺構の名残

(3) 侍町の整備

陣屋支配

連歌町

新参町ほかの侍町

侍町は「ちょう」町人町は「まち」

(4) 寺社の配置

真田氏当時の城下の寺社

大英寺の創建

三 上田城・城下町用地の接収

農村風景が広がっていた上田城、城下町用地

上田領惣貫高寄帳にみる接収地

接収地覚え書き

九割以上真田氏時代に形成

常田庄の常田・房山

城下町の外に移された寺社

五輪塔の転用



## 第四章 関ヶ原・大坂の役と真田氏

### 第一節 真田氏と関ヶ原の戦い

#### 一 真田父子東西に分立

秀吉の死と東西の対立 真田父子家康に臣従 真田父子上杉景勝攻めに出陣 真田父子東西に分立

123

#### 二 上田城死守

昌幸父子と沼田城の信幸夫人 西軍諸將より真田方への勧誘状 信幸上田城攻めの秀忠軍に合流  
徳川使者信幸父昌幸と会見 昌幸、信繁上田城を死守

126

#### 三 関ヶ原戦後の処分

信之、昌幸父子の助命嘆願 真田信之上田城主となる 昌幸、信繁父子高野山へ配流

132

#### 四 配流地高野山での生活

生活費に苦しんだ昌幸父子 昌幸高野山から下山の夢消える 病中、高野で上田を気遣う

134

#### 五 真田昌幸の死と信繁の生活

昌幸九度山で逝く 信繁の高野での生活 武将信繁の飾らない人柄

136

### 第二節 真田信繁（幸村）と大坂の役

#### 一 幸村、大助父子大坂入城

徳川・豊臣の対立激化 真田幸村、大助大坂入城

140

#### 二 大坂冬の陣

幸村出丸を築く 信之名代で出陣した信吉、信政 真田丸の攻防 東西両軍和睦

142

#### 三 徳川方の幸村勧誘としばしの和平

146

徳川方の幸村勧誘工作 幸村と国元との文通

## 四 大坂夏の陣

東西の和睦決裂 道明寺の戦い 真田幸村隊奮戦 決戦の大坂夏の陣 真田幸村戦死

真田大助秀頼に殉死

149

## 第五章 真田氏の支配

## 第一節 真田氏家臣団

157

## 一 真田氏家臣団の形成

157

## (1) 武田氏配下時代の真田氏家臣団

157

真田氏の知行地 真田氏の軍役量 『真田氏給人知行地検地帳』

## (2) 真田氏の自立と武田旧臣の召し抱え

161

真田昌幸の自立 武田氏旧臣の召し抱え 祢津氏・大熊氏の場合

## 二

昌幸、信幸の分立と家臣団

162

上田城主昌幸と沼田城主信幸 沼田への一部重臣の移住 矢沢氏も移住

## 三

信之の上田領相続と家臣団

164

## (1) 関ヶ原合戦後の措置

164

上田領の知行宛行 同心の配属替え 浪人した昌幸の旧臣も

## (2) 上田領と沼田領の統治

168

一元的でなかった信之領の支配 上田と沼田への重臣の配置 信之、上田領支配に専念



第二節 真田氏の領内支配 ..... 170

一 貫高で表された村高 ..... 170

真田氏上田領の貫高・石高 小県郡南半分の村々貫高 料所・知行地ほかの内訳

二 料所と知行地 ..... 173

(1) 真田氏料所 ..... 173

料所の設定 ニタイプの料所と代官

(2) 家臣知行地 ..... 175

給人とその知行地 西松本之郷知行目録 西松本の知行人と名請百姓

三 農村の整備復興 ..... 180

散使から肝煎へ 郷藏の設置 盛んに行われた用水堰・ため池の整備 欠落農民とその対策

本年貢の減免・入下

第三節 真田氏松代へ ..... 188

真田信之松代へ 真田氏家臣被官の欠落 「四十八騎浪人」事件

執筆分担

あとがき

参考文献

上田市誌の編さん組織

表紙写真 大坂冬の陣図屏風(部分)

真田の出丸の攻防戦を描いた箇所

裏表紙写真

和歌山県九度山町にあり、その敷地が真田昌幸居館跡と伝えられる  
善名称院真田庵

上田市誌 歴史編(6)

# 真田氏と上田城

発行 平成十四年十月一日

編集者 上田市誌編さん委員会

発行者 上田市

上田市誌刊行会

上田市大手一―一―一六

電話 〇二六八―三二―四二〇〇

印刷所 信毎書籍印刷株式会社

長野市西和田四七〇